



シカモア日本語教室 もみじ組 名前

しゆく

宿題 たしかめ表

令和8年 6月5日~6月11日

おうちの人のサイン	今週の宿題 10	
S	1	★毎日・音読「きちんとつたえるために」「気持ちをこめて、『来ててください』」「夏のくらし」 漢字カード③
S	2	★毎日・漢字学習ノート P.36 下~39
S	3	★毎日・漢字テスト勉強
S	4	★今週の出来事
S	5	(1) 教科書じゅ業プリント 10
S	6	(2) 教科書ふく習プリン 10
S	7	(3) 教科書よ習プリント 10
S	8	(4) 言葉調べと文作り 10
S	9	(5) ことわざ調べ 10
S	10	(6) 部首プリント 10
S	11	(7) かし組の漢字のふく習 10
V	12	(8) 音読ビデオ-58ページの土川さんの手紙と147ページの上
	13	今月の歌「アイアイ」

* SはGoogle Classroomのスライドにアップロードする。Vはビデオ、Mはメール。

音読カード きのうちより上手に読めたかな よくできた ◎ できた ○ もう少し △



読 む め あ て	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内ようがわかる							
おうちの人のサイン							

今週の二つの出来事

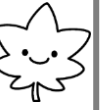
名前

①今週に起こった二つの出来事を書きます。

②「はじめ」「中」「終わり」の文章の組み立てを考えながら書きましょう。

終わり	中	はじめ	
			令和 年 月 日 曜日

終わり	中	はじめ	
			令和 年 月 日 曜日



かんじテストもんだい 10

- ★ ①読みを書く。②かんじをなぞる。③中心に気をつけて、四角の中に入れていないを書く。

(1) 拾う

(2) 向かう

(3) 坂道

(4) 円

(5) 悲鳴

(6) 緑色

(7) 開く

(8) 海岸



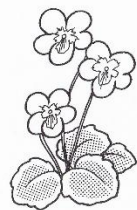
じゅぎょうプリント

「俳句を楽しもう」

㊦ 山路来て何やらゆかしすみれ草

まつお 芭蕉

山道を歩いてきたら、ふと見つけた道ばたのすみれ草に、なんとなく心が引かれるよ。



㊩ 閑かさや岩にしみ入る蟬の声

松尾 芭蕉

なんてしずかなんだろう。その中で、せみの声だけが、まるで岩の中にしみていくように聞こえている。



㊪ 菜の花や月は東に日は西に

よさ 蕪村

見わたすかぎりの菜の花ばたけ。月は東の空からのぼり始め、太陽は西にしずんでいく。



㊫ 夏山や一足づつに海見ゆる

こぼし 一茶

山を登り、ちようじようが近づいてきた。一歩進むごとに、明るい夏の海が見えてくる。



㊬ 雪とけて村いっばいの子どもかな

小林 一茶

● 上の俳句や文章を読んで答えましょう。

(1) () にあてはまる言葉を、 からえらんで書きましょう。 (5×4)

俳句は () の ()

で作られた () です。ふつうは

() というきせつを表す言葉が入っています。

十七音 五・七・五 短い詩 季語

(2) 五・七・五の音で、調子よく読めるように、

㊦㊩の俳句を、 / 線で区切りましょう。 (8×5)

㊦ 山路来て何やらゆかしすみれ草

㊩ 閑かさや岩にしみ入る蟬の声

㊪ 菜の花や月は東に日は西に

㊫ 夏山や一足づつに海見ゆる

㊬ 雪とけて村いっばいの子どもかな

(3) ㊦㊩の俳句の季語ときせつをまとめました。

() にあてはまる言葉を書きましょう。 (5×3)

季語

きせつ

すみれ草

蝉の声

春

(4) 次の文は、㊦の俳句をせつ明した文です。

() にあてはまる言葉を、 からえらんで書きましょう。 (5×3)

() になったので、 () が

とけて、 () がいっせいに外に

出てきて、村中にあふれかえっているよ。

子どもたち 雪 春



じゅぎょうプリント「こそあど言葉を使いこなそう」

(1) 絵を見て()にあてはまる言葉を()からえらんで書きましよう。

(5×4)

① あなたが持っている () ペンを、
かしてください。

② 今使っている () ペンは、
とても書きやすい。

③ 向こうのつくえの上にある () ペンは、
だれのかな。

④ () ペンを
使おうか、なやんだ。

この その あの どの

(2) 「一」の中の正しいほうの言葉を、○でかこみましよう。

(5×5)

① 「これ」「この」は、自分からも相手からも
— 近い — 遠い — ときに使う言葉です。

② 「それ」「その」は、自分からは
— 近く 遠く —、相手からは
— 近い 遠い — ときに使う言葉です。

③ 「あれ」「あの」は、自分からも相手からも
— 近い 遠い — ときに使う言葉です。

④ 「どれ」「どの」は、指し示すものが
— はっきりしている はっきりしていない —
— ときに使う言葉です。
(または、たずねるときにも使います。)

(3) 次の表は「こそあど」言葉の使い分けをまとめたものです。()にあてはまる言葉を()からえらんで書きましよう。

(5×11)

様子	方向	場所	物事	こ	そ	あ	ど
⑦ () こころ	⑥ () こちら	こころ	① () これ	話し手に近い場合			
⑩ () そう	そちら そっち	④ ()	② () その	相手に近い場合			
あんな ああ	⑦ () あっち	あそこ	③ () あれ	どちらからも遠い場合			
⑪ () どつ	⑧ () どちら	⑤ ()	どの どれ	はっきりしない場合			




教科書ふく習プリント

「言葉を使いこなそう」

(1) 次の文にあてはまるこそあど言葉を□からえらんで()に書きましょう。

① あなたのかばんは()ですか。

② ()にふじ山が見えます。

③ 一階か二階、()に


④ ()テーブルで、いっしょに食べましょう。

⑤ ()えんぴつをかしてください。

その ()の ()どれ ()どれ ()あちら ()どちら

(2) 次の②文の——線の部分を、こそあど言葉を使ってみじかくし、全文を()に書き直しましょう。

① たんじょう日に、スカートを買ってもらった。あした、わたしは、たんじょう日に買ってもらったスカートをはいて、母とえいがをみに行く。

② あのとつくえの上におかきがあります。あのとつくえの上のおかきは、姉のおやつです。

(3) 次の文のこそあど言葉で、正しい方に○をつけましょう。

① りんごごみかん ()どっち ()あっち を食べたいですか。

② 川は ()そう ()どう やってわたればいいのかろう。

③ ()どこに ()あそこに きれいな星が見えます。

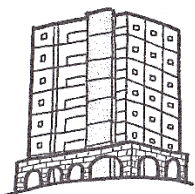
(4) 次の文のこそあど言葉に——線を引き、それが指す言葉を()に書きましょう。

① これは、わたしが作ったケーキです。

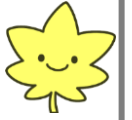
② 公園に行きました。そこで、友だちと遊びました。

③ お父さんが、おべんとうを作ってくれた。それをもって、遠足に行った。

④ むこうに高いビルが見える。あそこで父は、はたらいている。



⑤ すてきなマフラーですね。わたしも、そんなマフラーがほしいです。



教科書 予習プリント 「きちんとつたえるために」 &

1. かおりちゃんは、黄色い洋服を着ていますか。それとも、青い洋服を着ていますか。

2. 日本語で手紙を書いたことがありますか。

3. 教科書の六十八ページを見て、答えましょう。

土川さんの手紙を見て、英語で手紙を書く時とちがうことを、二つ教えてください。

4. 「夏の暮らし」 見たり、食べたりしたことがあるものを○でかこみましょう。

水ようかん	すだれ
	
そうめん	うち上げ花火
	
みつめめ	うちわ
	
ところてん	かとりせんこう
	
白玉	ふうりん
	
せんふうき	あみ戸
	



言葉調べと文作り

10

★ 次の言葉の意味を国語辞典で調べます。言葉の意味が二つ以上ある場合は、教科書に一番合った意味をえらんで書きます。

★★ 調べた言葉から三つをえらんで、文を作ります。(しゅ語とじゅつ語のそろった文を作ります。)

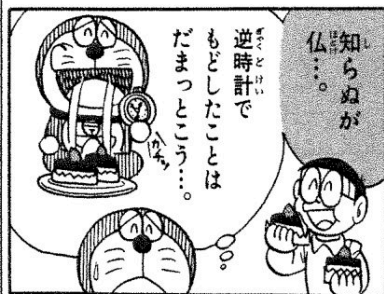
5	4	3	2	1
のびいっ	ふうとう	あんない	行事	食いちがう

Blank writing area with vertical lines and circles for writing practice.

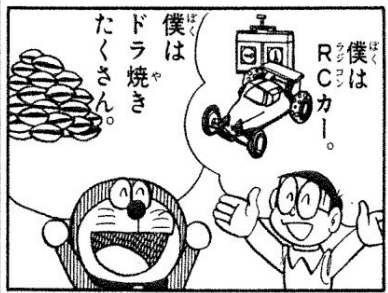
★次の二つのことわざの意味を調べて書きましょう。

名前

知らぬが仏



捕らぬタヌキの皮算用





部首(ぶしゅ) 10

★次の漢字の部首をハイライトした後、
部首の名前を書きましよう。

- ⑦ 岸 ()
- ⑥ 開 ()
- ⑤ 緑 ()
- ④ 悲 ()
- ③ 坂 ()
- ② 向 ()
- ① 拾 ()

★★次の部首のつく漢字を書きましよう。

① うかんむり

② はねぼう

③ てへん

④ きへん

⑤ あくび


教科書の百五十ページから見てみましょう。



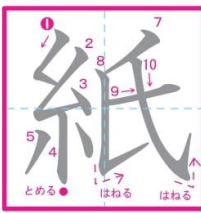


かし組のかん字のふくしゅう

10



し・かみ




とめる ● はねる はねる

紙	紙
	紙

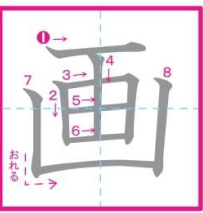
● 「紙・画・図・絵」のつく
ことばをかきましよう。

「画用紙」
がようし



「おり紙」
がみ

が・かく



おれるし
はねる

画	画
	画

いっかく
一画

にかく
二画

さんかく
三画

「画めん」
が

「一画」
いっかく

ず・と

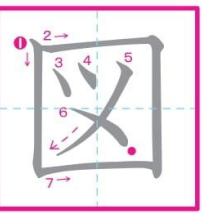
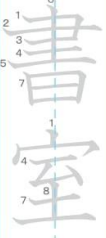


図	図
	図

「図工」
ずこう

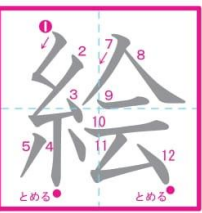
「図書室」
としょしつ



「図」
ず



かい・え



とめる ● とめる

絵	絵
	絵

「絵を見る」
えをみる

「絵のぐ」
えのぐ